



いわて電力

IWATE ELECTRIC POWER

YEARBOOK2022

LIGHTS UP IWATE



異彩を、放て。
その先に広がる景色がつながり、
誰もが生きる喜びを享受し合える世界へ

株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長 松田文登さん

「ヘラルボニー」という言葉は、兄が7歳の時に自由帳に書いた言葉です。

意味を聞いても「分からない」と言うのですが、障害のある方達の言語化できていないであろうことを僕達が想像度を高めて、世間に発信していくける会社でありたいという意味を込めて名づけました。

始めるきっかけとなったのは、「障害者アート」を検索して調べた際、支援的因素が強くなりすぎることに違和感を感じたことです。道の駅などで500円ほどで売られることではなく、単純に商品として評価されないものかと思いました。

2016年8月に仲間4人で会社務めをしながら、日本の職人と組んで、障害のある方のアートを表現したブランドをつくりたいといふ一でブランドを立ち上げました。

最初の商品となるアートの絵柄を織り込んだシルクのネクタイは、素晴らしい技術を持つ田屋さんとどうしても作りたく、山形の工房に飛び込みで訪ね、その結果、熱意を汲んでいただき完成しました。

2021年4月には盛岡市に「HERALBONY GALLERY」をオープン。

東京ではなく岩手を選んだ理由は、一過性の流行りではなく、長く続けていくことを考えると、地方でやるメリットは大きいと思うからです。東京からすれば岩手が価値に変わり、こちらからすれば東京が価値に変わる。両方のバランスを保っていきたいです。ずっと地域にあり続けて、地域から愛される「岩手発ヘラルボニー」として広がっていけるように頑張っているところです。例えば、ヤマハさんの車椅子のスポークカバーや、岩手ビッグブルズさんのユニフォームのデザインなど、いろいろなことをしています。

「全日本仮囲いアートミュージアム」という試みでは、日常

のそばにある「仮囲い」にプリントしたアートを飾り、障害のある方へのリスペクトが醸成されていくことを願うものです。囲いが外れた後は、飾っていたアートを裁断して、バッグに再生しています。裁断位置によって絵の出方が違うので、それも魅力になっています。また、「HERALBONY」という自社のアートライフブランドでは、衣類や小物などのオリジナル商品を百貨店を中心に販売しています。

仕事をする上で大切にしていることは、支援や貢献という言葉は一切使わないということです。ちゃんと成果を生んでいくことが重要だと思っているので、その言葉を抛り所にして逃げないように心がけています。障害のある方達をビジネスパートナーとして捉え、全国の福祉施設の障害のある作家さんとライセンス契約を結び、様々な企業とコラボし、アートの使用料を作家さんにお支払いするという、持続可能な収益構造のモデルをつくっているところです。

今後は、憧れをつくっていけるブランドになれるようにしていきたいです。「ヘラルボニー」と聞いたらヘラルボニーの柄が連想されるような、日常が障害のある作家の作品で彩られていく世界をつくっていきたいです。そして最終的には、兄を含めて、障害のある全ての方にリスペクトが続いている世界をつくっていきたいです。

会社としては、本社は岩手であり続けるので、地域の方々に応援される企業を目指しています。将来的には、「岩手には宮沢賢治や盛岡冷麺、じゃじゃ麺もあって、ヘラルボニーもあるよ」というような観光資源の一つにもなれたらいいなと思います。

地域の課題を地域で支え合う社会の実現に向け、岩手県内外から岩手を照らす人々にスポットを当てたインタビュー。今回は、福祉領域の拡張に挑戦する株式会社ヘラルボニー代表取締役副社長の松田文登さん、創業105年目を迎えた未来を見据えた独自の事業も展開していく一関市の株式会社京屋染物店の専務取締役 蜂谷淳平さんのお話をご紹介します。詳しくは、HPをご覧ください。

インタビュー
ページへ




岩手の染物屋として、
未来に向けて今できること。
葛藤しながらも「和の追求」を目指して

株式会社京屋染物店 専務取締役 蜂谷淳平さん

曾祖父にあたる初代の松寿が、修業でお世話になった染物の本場、京都の「京」の字を取って「京屋染物店」を開業しました。創業当時この辺りは料亭街で、友禅染で芸者さんの着物を染めたり、洗い張りをしつつ、印染で地域のお祭りの絆纏や手ぬぐい、暖簾や芸能衣装を染めていました。だんだん芸者文化もなくなり、着物の需要が減ってきたため、今は印染が主です。技法も様々で、手捺染（てなっせん）という型で染めていく方法や郷土芸能の衣装では引染がよく使われます。引染は多色やグラデーションもかけられるので、芸能衣装や大漁旗などの華やかなものが表現できます。その他、藍染などの草木染めもしています。

鹿踊の衣装は、捺染や引染、藍染など複数の技法を組み合わせないと1着作れません。2010年に他界した3代目の父の最期の仕事が鹿踊の衣装でした。今では父から仕事を引き継いだその衣装の団体に入り、昨年冬から毎週練習しています。始めたきっかけは、アウトドアブランド「スノーピーク」との仕事でした。ただ服を作つて終わりではなく、その土地の文化にも触れるツーリズム事業も開催した時に「自然を信仰する精神性が今の豊かな自然を育んできたんだ」、「鹿踊ってかっこいいな」と思ってきたのです。人と自然は時に対立する仲ですが、鹿踊はその間に在る存在として300年以上続いてきたこと、そしてその衣装を作つて自分が誇らしく思いました。

狩猟の側面では、駆除対象となつている鹿の亡骸の9割は山に捨てられている現状があります。鹿の皮は「皮界のカシミヤ」と呼ばれるほど柔らかく、しなやかで、そして軽い。「これが捨てられてしまうのはもったいない」、「郷土芸能に

関わってきた染物屋だからこそ、岩手だからこそできることが何かあるのでは?」と考え、取り組んできたクラウドファンディングの「山ノ頂」プロジェクトが形になりました。こだわりとして、野生で生きていることを実感できるよう、傷の部分も全て使っています。作る工程は何1つ隠していません。本質で正直にやっているかを大事にしたいです。

父の急な他界、さらに翌年の東日本大震災。祭りも中止になり、染物屋にできることはないと想い、ボランティアをしていた時期もありました。しかし、東日本大震災発生から半年もしないある日、陸前高田市の団体から破れた絆纏が届き、「こういう時こそ祭りで気持ちを一つにしたい。そのためには絆纏が必要なんだ」と依頼がありました。その時、祭りの意味を深く考えさせられ、「人の思いや絆、願いを運んだりしていくことを染物を通してやっているんだ」、「全てに理由があるんだ」と思いました。

105年目を迎え、今、まさに新しい取り組みとして、 笹谷地区の集落の古民家をリノベーションして拠点を作っています。自社商品や地場産品、土地と精神性を大事にした全国の商品も扱うセレクトショップをはじめ、鹿肉を使ったカフェも併設予定です。山と人の暮らしのお手本が里山にあると思い、今の時代に馴染むような里山暮らしを伝えていく拠点にしていきたいです。特に子ども達は自然の中で育てると学ぶことが多いと思います。里山の環境で鹿踊などの芸能やワークショップも企画して、地域をより体感できる場所にしていきたい



2

3

いわて電力の社会貢献活動 2022

いわて電力では、地域の将来のために役立つ社会貢献活動として、様々な活動や、団体へ支援する取り組みをしてきました。お客様には6種のプランよりお選びいただき、社会貢献のサポーターとなっていただいているいます。



野球少年応援プラン

岩手の野球少年を育てる活動に充てられます。

女子野球選手 交流イベント

2022.12.4 → 中止となりました。



サッカー少年応援プラン

岩手のサッカー少年を育てる活動に充てられます。

いわてグルージャ盛岡 サッカー教室 in 一関

2022.10.10 → 雨天のため、中止となりました。



スポーツクライミング いわてカップ2022

2022.4.23-24 岩手県営運動公園

第1ボルダリング競技場・リード競技場にて、ボルダリング・リード大会が開催されました。雨の中ではありましたがあ、選手達は一生懸命挑んでいました。この中から、伊藤ふたば選手に続く大スターが生まれるかも…! 岩手でクライミング競技がさらに盛り上るよう、応援していきましょう!

主催：一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会



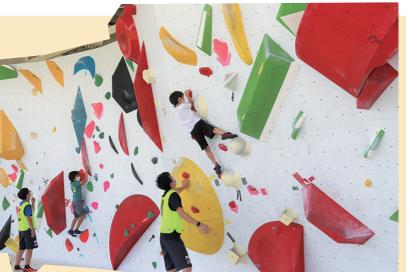
「ねおおお
おおおおお!」

「よおよよ
よよよよよよ!」

「よよよよ
よよよよよよ!」

「よよよよ
よよよよよよ!」

「よよよよ
よよよよよよ!」



小学3~4年生 クライミング体験教室

2022.7.3,6,7 岩手県営運動公園

3日間を通して開催された教室は、オリンピック競技である「スピード」「リード」「ボルダリング」の全てを体験できる内容でした。なんと! 盛岡近郊の小学校に通う3~4年生の子どもたちが、99人も集結!! 親御さんたちからは「色々な体験させてあげたくて、こういったイベントを楽しみにしています♪」と、人気の教室で、「子ども本人から、前回が楽しかったからまた行きたい! と言われて参加しました」というリピーターの方もいました。「こわかったけど諦めないで頑張った」「難しかったけど、できるようになったらちょっと楽しかったかも☆」と誇らしげに語る子どもたち。一生懸命チャレンジして、ゴールできた時に会場が沸く一体感は感動的でした!

主催：一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会



スポーツクライミング 応援プラン

岩手から世界を目指すスポーツクライミングの選手たちの支援に充てられます。



こども食堂応援プラン

食育や学業の支援で活動する、岩手県内のこども食堂の支援に充てられます。

岩手町×零石町 「なかよし×子ども食堂」開催

2022.5.21 岩手町立水堀小学校



今日は、楽しい1日!
みんなありがとう!



主催：なかよし×子ども食堂実行委員会
NPO法人まちサボ零石
共催：岩手町、零石町
協力：いわてグルージャ盛岡
JAいわて女性部岩手支部
沼宮内学童保育クラブ
水堀学童保育クラブ
丸紅株式会社
岩手電力株式会社



Tシャツ書き書き。
くすぐったいよ。



主催：一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会

「よいよし、
よいよし。」

「ワクワク、ドキドキ、
いよいよだなあ。
説明しっかり聞いて。」

「よし、
届いた!」

「難しいけど、
すごい楽しい!
次はどうしようかな♪」



**認定NPO法人インクルいわて
こども食堂フードパントリー開催**

2022.4.23 北良株式会社 盛岡支店 駐車場

インクルいわてさんは、ひとり親世帯を支援するために、以前から子ども食堂の活動を熱心にされています。コロナ禍になってからは、ドライブスルーのフードパントリーへと形を変え、支援を継続しています。今回、「こども食堂応援プラン」の活動として、会場の提供と、来られた方の誘導などのサポートをしました。当日は雨の中ではありましたが、51世帯の方が来られ、食料品や日用品などを受け取りました。参加者の方々からは、「GWが近づき出費も増えるので、おやつが沢山入っていたのも嬉しかったです。毎日ひとつずつ何にしようか楽しみに頂いています」「レトルト食品や乾物など非常に助かっています。普段食べることのできないお肉もありとても嬉しいです」「食材の値上がり、毎日のことなので家計への影響は小さくないのですが、こどもにしっかり栄養満点の食事を用意したいと思います。感謝です」と話していました。



主催：一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会

「おいしく食べて
もらえますように」



金石市民ホール前の移動壁を組み立てた特設会場に、2日間で総勢16名が集結! コロナ禍の影響で、度重なる開催中止を乗り越え、念願の沿岸初開催となりました! 「近くに本格的な施設がないので楽しみにしてきました」と、大船渡から足を運んでくれた方もいらっしゃいました。1時間30分ほどの教室で6つのコースにチャレンジした結果、ついさっきまで登られなかったコースでも、先生のお手本を見て学び、ぐんぐんのぼっていく子どもたち。その姿に会場は大盛り上がり★最後には、制限時間内にどれだけコースを登れるか競う試合ができるほど達しました!

主催：一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会



「しづくいし 子育ち子ども食堂」参加

2022.9.12-14 まちおこしセンターしづく×CAN



ご契約者さまへ

ご契約時に選んでいただいた社会貢献活動プランは、いわて電力へご契約されているみなさまのおかげで、たくさんの子どもたちの笑顔に出会うことができました。日ごろからのサポート、誠にありがとうございました。



医療的ケア児 支援プラン

岩手県内の支援学校や医療的ケアを必要とする子供たちの支援に充てられます。



Supported by
Iwate Electric Power

いわて電力の 社会貢献 活動

3日間のイベントの2日目、地域の人とのかかわり学習のコーナーに参加してきました。電力にはどんなつくり方・使い方があって、なぜ節電が大切なかを学ぶクイズ大会からスタート! 「熱を作るためには、たくさん電気が必要ってさっき言った!」など、気づいたことを教えるべくクイズに挑戦してくれました。また、ペットボトルからプロペラをつくり、風の力で電球が光る風力発電工作キットを製作しました。光らせるためにはどの方向にモータを回せばいいのか、プロペラはどの方向に折り曲げるとよく回るのかなど、みんなで工夫して作り上げ、光らせることができました♪そしてメインの実験は、足漕ぎ式発電機で大きな電球を光らせよう! 「速くたくさん回したほうが光るのかな?」「手でも回してみたい!」「○○ちゃん頑張れー!」と大盛り上がりでした。そして、お待ちかねの夕食の時間。豚汁とひき肉フライ、そしてデザートにはどら焼きを食べました。食後にはみんなでかくれんぼをしたり、宿題をしたり…子どもたちの笑顔にこちらが元気をもらえる素敵な時間を過ごすことができました。町ぐるみで子どもたちを見守るもうひとつのおうちのような、まちおこしセンターしづく×CAN。子どもたちの笑顔がこんなにも素敵なのは、町が素敵だからだと感じました。

主 催：零石町
事業実施：NPO法人まちサボ零石
協 力：岩手電力株式会社



いわての防災教育 支援プラン

岩手県内の防災教育や防災イベントへの活動支援に充てられます。



みんなの防災教室 in 藤乃こども園

2022.10.5 藤乃こども園・花巻



災害時に自分の身を守る方法を考える紙芝居からスタート。「窓の近くは危ない!」など、積極的に知っていることを教えてくれました。続いて、災害時に停電になったときのために、懐中電灯で部屋をより明るくする方法を学ぶ「オリジナルランプ作り」をしました。夢中で透明フィルムにお絵描きする子どもたち。灯りの上に水を入れたペットボトルを乗せるだけで、水が光を乱反射して、周りを明るく照らすことができました! また、自分で発電機を回して電球を光らせたり、扇風機を回したりする実験もしました。「がんばー!」とみんなで一生懸命応援し、電気をつくる大変さを楽しみながら体験することができました。屋外では、災害時にも水上・陸上どこでも走ることができるパワフルな水陸両用車「ARGO」の乗車体験! こちらは親会社である北良(株)が、災害時用の特殊車両として配備しているものです。先生たちに運転を体験してもらい、その後、停車している運転席に乗り込んだ子ども達は大興奮。大人になつたら乗りこなして災害現場で活躍する子も出てくるかも…?ARGOに負けないパワフルな子どもたちの笑顔が、とても輝いていました。

の信号に変換して対戦ゲームができる「徒競走」「玉入れ」の2つの競技が新登場! 心拍入力を採用した大会は日本初です。

心拍入力の導入で、どのような障害、病気があっても、同じゲームを楽しめるようになりました。生配信では、視線を使っての真剣・ガチ勝負。熱闘が繰り広げられ、たくさんの方に視聴頂きました。全国大会ということで、なまりや方言交じりの地域性を感じる応援が飛び交い大盛り上がり! たくさんの応援のおかげで、現地会場は熱気に包まれました。現地で参加された方からは「現地で大会の熱気を体感できてよかったです!」「会場でのソフトのダウンロードなど、サポートしてもらえて安心でした!」といった嬉しい声も。参加選手には大会の盾と岩手県内の美味しいものが賞品として贈られ、今大会の幕がとじられました。

午前の部では、ご家族の方々やご本人によるEyeMoT導入事例発表が行われました。それぞれの立場でどのように視線入力と関わってきたのか、生活がどう変わったかより身近に感じられる素晴らしい発表でした。

午後の部ではいよいよ競技スタート。今大会では、お馴染みの視線入力で自分の陣地(キャンバス)を塗り合う「対戦ぬりえ」に加え、心拍をボタン

いわて電力×いわてグレージャ盛岡 「発達障がい児童のための 運動教室 in 北上2」開催

2022.4.16



北上総合体育館

いわてグレージャ盛岡の選手、トレーナーの方などが多数参加し、しっぽ取りゲームをしながら、ボールを移動させるなど、ボールを使った様々な運動をしました。いきいきと走り回る子どもたち。1時間で教えられたことをぐんぐん吸収する子どもたちの成長に驚きました。「これはちょっと難しいから、こうしていい?」など、自ら工夫して楽しんでくれる子もいて、子どもたちの自由な発想に大人が学ぶことも多くありました。



重症心身障がい者の eスポーツ大会 「いわて電力杯 EyeMoT グランプリ 全国大会2022」開催

2022.11.19



岩手県立大学



現地のみんなで、
記念撮影!
熱い大会だった!

Eye MoT とは?

肢体不自由の重度心身障がい者が、自分でPCを操作する視線入力装置を使い、ゲームを通じてトレーニングを行う視線入力訓練ソフトウェアです。これまで、声や手足によるスイッチ操作で意思を伝えることが難しかった重症者が、視線により画像の認識や文字の入力などで意思を伝えたり、表計算ソフトや動画作成などの操作が可能になるなど、社会参加に大きな可能性を広げる技術として注目されています。

相手もなかなか
やるなあ。
これは名勝負!



面白い!
楽しい!

主催：岩手電力株式会社
共催：島根大学EyeMoTチーム(伊藤史人)、北良株式会社
後援：岩手県、株式会社ヘラルボニー





AED無料レンタル

お祭りや子ども会など、岩手県内のさまざまなイベントにAEDを無料貸出する取り組みです。

いわてグルージャ盛岡と「AED講習会」実施

2022.7.23

いわぎんスタジアム

いわてグルージャ盛岡さんと弊社で結んでいる「安全なスポーツ環境の実現」を目的としたAED活用協定の取り組みの一環として、昨年に引き続きAED講習会を開催しました。手指消毒の上、マスクを着用し実施した講習会では、弊社社長の笠井が講師となり、今期からグルージャへ加入した選手数名と一般の方々が参加しました。実際に、選手一人一人がAEDの起動や心臓マッサージを体験。救える命を、ひとつでも増やすために。救える術を、ひとりでも多くの人に。小さいお子様の参加者も、自分も何とか役に立ちたいという前のめりな姿勢で取り組んでいました。



大事なこと、
しっかり。



1、2、3、4、…
どんな時でも、
誰かを助けるために！



AEDを無料レンタルしています。



第10回 七時雨マウンテン トレイルフェス

2022.6.5

八幡平市七時雨山

第10回 東北中学生チャンピオンズカップ大会 ホッケー競技

2022.7.1-2

岩手町総合運動公園岩手町ホッケー場



盛岡市立緑が丘小学校 マラソン大会

2022.10.14,18

盛岡市緑が丘小学校



岩手電力株式会社

岩手県北上市和賀町後藤二地割106番地160
Tel: 0197-73-5000 Mail: info@iwate-denryoku.co.jp

<https://iwate-denryoku.co.jp>

Edited by Pukari Copyright(C) 2023 Iwate Electric Power Company

HPはこちら

